

つくば市議会提言書
令和7年9月30日 予算決算委員会

事業名	地域防災力強化事業
事業概要	気候変動等による自然災害の激甚化・頻発化に対応するため、総合防災ガイド・マップ（ハザードマップ）の改訂及び全戸配布を行い、市民に防災情報を提供して活用してもらうことにより、地域の防災力強化を図る。また、防災気象サービスを導入し、高精度な気象予測に基づく情報収集、発信等による災害対応業務の迅速化・効率化を図る。
提言内容	
・ 停電・断水時にも使用できるトイレの設置が、一部地域に限られている。市内全域に、マンホールトイレ及び地下水等を利用した災害用トイレなどの設置を、計画的かつ継続的に進めていくこと。その際、それらの設置場所もホームページ等で公表すること。ホームページ上にまだ掲載されていない災害用井戸や使用できる水源も公表する。飲料水の備蓄率が低いため、必要な量を確保できるよう予算措置を行うこと。 ・ 指定避難所となっている学校体育館や武道場への空調設備の設置が非常に遅れている。関係部局とも連携して国の補助事業を待つことなく、民間の補助事業も活用しながら早急に設置していくと共に、停電時にも稼働可能な空調設備の導入を検討し、災害時の避難環境の質を向上させること。 ・ 地域の防災力を高めるために、教育局で行っている「地域との連携による学校の防災力強化事業」において、地域の方や子どもたちと学校防災手帳を活用する機会を増やし、地域で共有できるよう支援すること。 ・ 障がい者にも情報が伝わる緊急速報、災害通知等の伝達手段の確立及び外国人を含む地域住民への防災意識向上のために、防災カルタ等の視覚的・言語的に分かりやすい教材を活用し、啓発活動を強化すること。 ・ 近年の異常気象に伴う豪雨、雷、竜巻等の災害発生時に、いち早く最新情報が得られる高精度な気象予測ができる防災気象サービスを学校にも更に活用してもらい、登下校時に子どもたちが被災しないような対策を講じるよう周知徹底すること。	

予算決算委員会総務文教分科会

つくば市議会提言書
令和7年9月30日 予算決算委員会

事業名	児童生徒の芸術文化鑑賞・体験事業の拡充
事業概要	各学校にアーティストを招聘して芸術鑑賞・体験の機会を設ける。本事業のもととなる現行事業「豊かな心育成事業」では学園単位で予算を配分し、限られた予算で事業を実施してきたが、現行事業の発展形である本事業では各学校単位での実施とする。また、1校当たりの予算を増額することで各学校の希望を反映した事業内容を実現するとともに、児童生徒がレベルの高い芸術文化に触れる機会を提供する。
提言内容	
・鑑賞だけでなく、体験活動もより積極的に取り入れること。 ・市民部のアートコーディネーターと連携し、学校に提供する事業者紹介シートの見直しを定期的に行うこと。その際、市内の芸術文化団体の活用も視野に入れること。 ・児童生徒数の多い学校では予算の追加について柔軟に対応すること。 ・地域住民を招待したり、体験活動では地域住民にサポートを依頼するなど、コミュニティスクールを意識した取組を検討すること。	

予算決算委員会総務文教分科会